

安全情報

2016年2月15日

非血縁者間骨髄移植・採取認定施設
移植認定診療科 連絡責任医師 各位
採取認定施設 採取担当医師 各位

公益財団法人 日本骨髄バンク
医療委員会

輸注開始後に骨髄液バッグ内で溶血が確認された事例について（第二報）

過日、移植施設から骨髄液の溶血事例が報告され、安全情報(2015年10月30日付)を発出し、当法人 医療委員会においてその取り扱いについて審議しておりました。

その結果、骨髄液の溶血防止の観点から下記について、ご対応および関係の皆様にご周知くださいますようお願いいたします。

① 骨髄液等を一時保管する場合、振盪保存することは推奨しない。

また、2010年4月15日付け「輸注開始後に骨髄液の溶血がみられた事例(報告)」に掲載しております下記についても、再度、周知いたします。

② 移植施設において有核細胞数を再カウントする際に、血算サンプルを遠心分離して血漿の色をチェックすることで輸注前に溶血の有無が確認できます。

貴施設におかれましても、今一度ご確認いただき、今後も格段の注意を払ってご対応くださいますようお願い申し上げます。

以上

※関連情報については、下記をご参照ください。

日本骨髄バンク ホームページ>医師の方へ>患者主治医の方へ>医師宛通知文一覧>
2015. 10. 30 「輸注開始後に骨髄液バッグ内で溶血が確認された事例について（第一報）」

<問い合わせ先>

公益財団法人日本骨髄バンク 移植調整部

TEL 03-5280-4771 FAX 03-5280-3856

Email アドレス jmdpishoku@jmdp.or.jp